

はじめに

終末期にまつわる「もやもや」を言語化し、 明日からの実践につなげる

洪 英在 HongYoung-Jae

(三重県立一志病院家庭医療科)

終末期に関連する問題、さまざまあると思います。臨床の現場で働いてしばらくすると、働き始めた当初は問題と思っていたことを、諦めも入り、問題に思わなくなっている(思わなくしている)ことは多々あるでしょう。また、問題と気づいていなかったが、違う視点を知ることで、問題になっていることに気づくこともあるでしょう。

今回は、終末期問題をできるかぎり“まるミエ”となるようにしてみました。最初は、各分野の終末期に絡む「もやもや」を、第一線で活動中の人に列挙してもらいます。終末期の問題と深く関連していそうな、老年医学、緩和ケアの分野だけでなく、一見、関連が少なそうな小児在宅、成人知的障がい者、感染症の分野も項目に設定しました。読者が普段感じているもやもやを言語化してくれていることでしょう。また、気づいていない問題にも気づくことでしょう。

次に、終末期に関連するもやもやの要因に関して絞って深めてみます。ここであげる要因は一部分にしかすぎません。しかし、すべて重要な部分です。執筆者は、文章化することによりかなりのストレスを感じたと思いますが、思い切って「ぶっちゃけて」もらえました。

最後に在宅医療の現場で、今まさにもやもやしながら終末期の方々と向き合っている方々に実践例示してもらいました。

執筆者は皆、現場で信念をもちながら実践をしている方々ばかりであることが、原稿を読み進めるとわかると思います。本当に「ぶっちゃけて」もらえました。何となく「もやもや」している部分が、それぞれにしっかり言語化されています。読者個人の「もやもや」を深め、言語化するに最適な特集になっています。ぜひ読み込んでいただき、近くの方と議論を深めてもらえると幸いです。